

令和 8 年度（2026 年度）

近畿大学大学院
生物理工学研究科

学 生 募 集 要 項

『学生募集要項 別冊（研究科共通）』とあわせてご確認ください。



目 次

0	アドミッションポリシー	
①	近畿大学教育方針	1
②	生物理工学研究科のアドミッションポリシー（入学者受入れ方針）	1
1	入学試験	
①	入学試験日程表	4
②	入試予備日	4
2	出願資格	
①	博士前期課程 学内入学選考（9月募集）	5
②	博士前期課程 一般入学選考（9月募集・2月募集）	5
③	博士前期課程 社会人入学選考（9月募集・2月募集）	6
④	博士後期課程 一般入学選考（9月募集・2月募集）	6
⑤	博士後期課程 社会人入学選考（9月募集・2月募集）	7
3	出願書類	8
4	選考方法	
①	博士前期課程 学内入学選考（9月募集）	10
②	博士前期課程 一般入学選考（9月募集・2月募集）	10
③	博士前期課程 社会人入学選考（9月募集・2月募集）	11
④	博士後期課程 一般入学選考（9月募集・2月募集）	11
⑤	博士後期課程 社会人入学選考（9月募集・2月募集）	11
5	その他	12

0. アドミッションポリシー

近畿大学教育方針

本学は、未来志向の「実学教育と人格の陶冶」を建学の精神とし、「人に愛される人、信頼される人、尊敬される人の育成」を教育の目的として掲げてきました。この「建学の精神」と「教育の目的」は、知識基盤社会へ転換しようとする21世紀の日本において、いっそう必要とされる理念であると自負します。

本学が、総合大学として各学部の特色を生かしながら、共に手を携えて目指そうとしているのは、「実学教育」と「人格の陶冶」の融合です。眞の「実学」とは、必ずしも直接的な有用性を志向するだけではなく、その事柄の意味を学び取ることを含みます。現実に立脚しつつも、歴史的展望をもち、地に足をつけて、しなやかな批判精神やチャレンジ精神を発揮できる、創造性豊かな人格の陶冶を志向するものです。「自主独往の気概に満ち」、生涯にわたって自己の向上に励み、社会を支える高い志をもつことが「人に愛され、信頼され、尊敬される」ことにつながります。このような学生を社会に送り出すことが、これから時代に、本学が目指す社会的使命であります。

生物理工学研究科のアドミッションポリシー(入学者受入れ方針)

生物工学専攻

近畿大学建学の精神である「実学教育」と「人格の陶冶」に即して、人類社会の福祉と持続的発展に貢献することができる人材を育成するために、生物工学専攻は、生物学と工学の学際領域でのバイオテクノロジーを推進します。この理念のもと、動植物・微生物の分子生命工学、生殖再生や生体機能分子工学、生命環境及び食の機能・食の安全工学の分野の高度専門技術者・研究者を志向する次のような人を求めます。なお、入学選考における評価は、別表に定めた生物理工学研究科入学選考における評価基準をもとに行います。外国人留学生入学試験では、日本学生支援機構実施の「日本留学試験（日本語）の成績」の結果も加味します。英語に堪能と判定できる者については、日本留学試験「日本語」を免除し、口頭試問も英語で受験できます。

本専攻では、以下にあげるような人物像を備えた人の入学を受け入れます。

【博士前期課程】

1. 生命現象と科学技術への広い関心・理解を持ち、上記分野の課題解決に意欲を持つ人。
2. グローバル社会に対応した英語力と学部で学んだ専門的知識・技術を併せ持つ人。
3. 国際的な視野と倫理観を持ち、高度な専門力の修得により人類社会への貢献を目指す人。

このような人物を受け入れるために、学内推薦入学選考、学内入学選考、一般入学選考、社会人入学選考、外国人留学生入学試験を実施します。各選考・入学試験では、外国語・専門科目の成績（学力試験成績・学部成績）に加えて口頭試問を課すことによって、基礎学力、語学力及び国際的な視野と高い倫理観を持つ高度専門技術者・研究者として社会に貢献する意欲等を測り、総合的な評価によって選抜を行います。

【博士後期課程】

1. 生命現象と科学技術への広い関心・理解を持ち、上記分野の課題解決に高い意欲を持つ人。
2. グローバル社会で活躍するための高度な英語力に加えて、広い視野と高度の専門的知識・技術を併せ持つ人。
3. 国際的な視野と高い倫理観を持ち、自然と人間の営みについての複眼的な思考を通して人類社会への貢献を目指す人。

このような人物を受け入れるために、一般入学選考、社会人入学選考、外国人留学生入学試験を実施します。各選考・入学試験では、外国語と口頭試問を課すことによって、博士前期課程において修得した語学力と専門的知識・技術、国際的な視野と高い倫理観を持つ高度専門技術者・研究者として社会に貢献する意欲等を測り、総合的な評価によって選抜を行います。

生体システム工学専攻

生体システム工学専攻では、機械、電気電子、情報通信を主柱とする工学分野と医療・福祉工学、健康科学、生活科学を主柱とするライフサイエンス分野を融合させた生体システム工学に関連する学際的教育研究を実現するカリキュラムポリシーを編成しており、これを通じて本専攻のディプロマポリシーに示す資質・能力を習得した技術者、研究者の育成を目指します。

【博士前期課程】

高齢社会に対応したQOLの向上に貢献できる高度専門的職業人（技術者）の育成を目指しており、以下にあげるような人物像を備えた人の入学を受け入れます。

1. 生体システム工学の研究を行うに足る学士課程における基礎学力及び知識を持った上で、学修・研究に対する意欲や語学を含めたコミュニケーション能力を有する人。
2. 生体システム工学に関する幅広い知識と専門領域における探究心を有し、高度工学技術の修得及び研究を通して科学技術の発展に貢献したい人。
3. 高い倫理観を持つ工学技術者の観点から生体システム工学分野における諸問題を解決し、同観点から持続可能社会の構築に貢献しようとする人。
4. 国際的な視野を持ち、国際社会の一員として社会貢献を目指す人。

以上にあげるような人物を受け入れるために、学内推薦入学選考、学内入学選考、一般入学選考、社会人入学選考、外国人留学生入学試験を実施します。各選考・入学試験では、外国語・専門科目の成績（学力試験成績、学部成績の一部または複数の成績）に加えて口頭試問を課すことによって、学士課程における基礎学力、語学力及び国際的な視野と高い倫理観を持つ高度専門技術者として社会に貢献する意欲等を測り、総合的な評価によって選抜を行います。外国人留学生入学試験では、日本学生支援機構実施の「日本留学試験（日本語）の成績」の結果も加味します。なお、入学選考における評価は、別表に定めた生物理工学研究科入学選考における評価基準のもとに行います。

【博士後期課程】

より高度な専門知識と豊かな学識に裏付けされた新奇の知見や技術の創出によって循環型知識基盤社会の発展に貢献できる研究者の育成を目指しており、以下にあげるような人物像を備えた人の入学を受け入れます。

1. 生体システム工学の研究を行うに足る博士前期課程における基礎学力及び知識を持った上で、学修・研究に対する意欲や語学を含めたコミュニケーション能力を有する人。
2. 生体システム工学に関する幅広い知識と専門領域における探究心を有し、高度工学技術の修得及び研究を通して科学技術の発展に貢献したい人。
3. 高い倫理観を持つ工学研究者の観点から生体システム工学分野における諸問題を解決し、同観点から持続可能社会の構築に貢献しようとする人。
4. 国際的な視野を持ち、国際社会の一員として社会貢献を目指す人。

以上にあげるような人物を受け入れるために、一般入学選考、社会人入学選考、外国人留学生入学試験を実施します。各選考・入学試験では、外国語・専門科目の成績（学力試験成績、博士前期課程成績の一部または複数の成績）に加えて口頭試問を課すことによって、博士前期課程における基礎学力、語学力及び国際的な視野と高い倫理観を

持つ研究者として社会に貢献する意欲等を測り、総合的な評価によって選抜を行います。外国人留学生入学試験では、日本学生支援機構実施の「日本留学試験（日本語）の成績」の結果も加味します。なお、入学選考における評価は、別表に定めた生物理工学研究科入学選考における評価基準のもとに行います。

1. 入学試験

1-① 入学試験日程表

入学定員	生物工学専攻 博士前期課程：16名 博士後期課程：3名 生体システム工学専攻 博士前期課程：18名 博士後期課程：2名			
	9月募集		2月募集	
課程	博士前期課程		博士前期課程	博士後期課程
入試種別	■学内入学選考 ■一般入学選考 ■社会人入学選考	■一般入学選考 ■社会人入学選考	■一般入学選考 ■社会人入学選考	■一般入学選考 ■社会人入学選考
出願期間	令和7年7月22日（火）～令和7年8月1日（金）		令和8年1月15日（木）～令和8年2月4日（水）	
試験日	令和7年9月13日（土）		令和8年2月21日（土）	
合格発表日	令和7年9月30日（火）		令和8年3月10日（火）	

※1 募集人員は、学内入学選考・一般入学選考・社会人入学選考・外国人留学生入学選考の入学者を含みます。

1-② 入試予備日

台風・雪・地震等による災害その他特別な事情により、上記に定めた期日に実施できず、または完了しなかった試験分については下記の試験予備日に実施します。この場合の合格発表日・手続期間は改めて試験実施日および合格発表時に通知します。さらに予備日での実施が困難な場合は、状況が回復次第、できるだけ速やかに実施します。できるだけ速やかに実施します。

入学試験日	試験予備日
令和7年9月13日（土）	令和7年9月20日（土）
令和8年2月21日（土）	令和8年2月28日（土）

2. 出願資格

【博士前期課程】

2-① 学内入学選考（9月募集）

令和8年3月近畿大学を卒業見込みで学科長または演習・卒業研究指導教員のいずれかの推薦があり、志望専攻と関係ある課程を修めた者。生物理工学研究科は生物理工学部の既卒業者を含む。

※各研究科とも、別に定める成績基準を満たす者。

2-② 一般入学選考（9月募集・2月募集）

次のいずれかに該当し、志望専攻と関係ある課程を修めた者。

- (1) 大学の学部を卒業した者および令和8年3月卒業見込みの者。
- (2) 大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者および令和8年3月までに学士の学位を授与される見込みの者。
- (3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者および令和8年3月修了見込みの者。
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者および令和8年3月修了見込みの者。
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者および令和8年3月修了見込みの者。
- (6) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者および令和8年3月修了見込みの者。
- (7) 文部科学大臣の指定した者。（昭和28年2月7日文部省告示5号）
- (8) 本大学院において個別の入学資格審査により、上記と同等以上の学力があると認めた者で22歳に達した者および令和8年3月31日までに達する者。
- (9) 本大学院において上記（1）と同等以上の学力があると認めた者。

※なお、上記（7）、（8）または（9）に該当すると思われる者は、出願資格の有無を事前に審査しますので、出願期日の2カ月前までに和歌山キャンパス学生センターに相談し、「研究歴」「研究の成果」等の審査に必要な書類を提出してください。

2-③ 社会人入学選考（9月募集・2月募集）

次の（1）～（9）のいずれかに該当すると共に、（10）（11）の条件を満たす者。

- (1) 大学の学部を卒業した者。
- (2) 大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与された者。
- (3) 外国において学校教育における16年間の課程を修了した者。
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年間の課程を修了した者。
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年間の課程を修了したとされるものに限る）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者。
- (6) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者。
- (7) 文部科学大臣が指定した者。（昭和28年2月7日文部省告示5号）
- (8) 本大学院において個別の入学資格審査により、上記（1）と同等以上の学力があると認めた者で22歳に達した者および令和8年3月31日までに達する者。
- (9) 本大学院において上記（1）と同等以上の学力があると認めた者。
- (10) 生物理工学研究科は大学卒業者は大学卒業後1年以上、（2）から（6）または（7）から（9）の出願資格取得後1年以上の在職経験がある者。
- (11) 生物理工学研究科は、在職している職場の長からの「推薦」がある者。

※なお、上記（7）（8）または（9）に該当すると思われる者は、出願資格の有無を事前に審査しますので、出願期日の2カ月前までに和歌山キャンパス学生センターに連絡してください。

【博士後期課程】

2-④ 一般入学選考（9月募集・2月募集）

次のいずれかに該当し、志望専攻と関係ある課程を修めた者。

- (1) 修士の学位を有する者および令和8年3月修士課程または博士前期課程を修了見込みの者。
- (2) 専門職学位を有する者および令和8年3月までに専門職学位を取得見込みの者。
- (3) 外国において修士の学位に相当する学位を有する者および令和8年3月までに取得見込みの者。
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者および令和8年3月までに取得見込みの者。
- (5) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者および令和8年3月までに取得見込みの者。
- (6) 文部科学大臣の指定した者。（平成元年9月1日文部省告示第118号）
- (7) 本大学院において個別の入学資格審査により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で24歳に達した者および令和8年3月31日までに達する者。
- (8) 大学を卒業した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者。

※なお、上記（6）（7）または（8）に該当すると思われる者は、研究科で出願資格の有無を事前に審査しますので、出願期日の2カ月前までに研究科に相談し、「研究歴」「研究の成果」等の審査に必要な書類を提出してください。

2-⑤ 社会人入学選考（9月募集・2月募集）

次の（1）～（8）のいずれかに該当すると共に、（9）の条件を満たす者。

- (1) 修士の学位を有する者。
- (2) 専門職学位を有する者。
- (3) 外国において修士の学位に相当する学位を授与された者。
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者。
- (5) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者。
- (6) 文部科学大臣の指定した者。（平成元年9月1日文部省告示第118号）
- (7) 本大学院において個別の入学資格審査により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で24歳に達した者および令和8年3月31日までに達する者。
- (8) 大学を卒業し、または外国において学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事したもので、本大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者。
- (9) 入学時において、上記（1）から（5）に該当する場合大学院修了後2年以上の在職経験が、上記（6）、（7）または、（8）に該当する場合は大学卒業後または出願資格取得後4年以上の在職経験があり、かつ在職のまま入学を希望し、在職している職場の長の「推薦」があること。

※上記（6）、（7）または、（8）に該当すると思われる者は、研究科で出願資格の有無を事前に審査しますので、出願期日の2ヵ月前までに和歌山キャンパス学生センターに相談し、「研究歴」「研究成果」等の審査に必要な書類を提出してください。

3. 出願書類

下記の書類をそろえてご提出ください。

【博士前期課程】

出願書類	内容	試験制度				
		9月期			2月期	
		学内	一般	社会人	一般	社会人
出願確認票	インターネット出願サイトより画面の指示に従って必要な情報を入力し、出願登録をしてください。出願写真データについては、13 ページをご確認ください。 ※紙での提出は不要です。	○	○	○	○	○
履歴書 (インターネット出願 サイトトップの必要書 類よりダウンロード)	必要事項を記入してください。 (https://www.kindai.ac.jp/graduate/exam/requirements/document/)	○	○	○	○	○
卒業または卒業見込証 明書	出願 3 カ月以内に発行したもの。大学院修了（見込）者は学部および大学院の証明書を提出してください。 ※ただし、外国の学校の場合は、発行日の記載がなくても認める。	○	○	○	○	○
成績証明書	出願 3 カ月以内に発行したもの。大学院修了（見込）者は学部および大学院の証明書を提出してください。 ※ただし、外国の学校の場合は、発行日の記載がなくても認める。	○	○	○	○	○
推薦書	学長宛。（ダウンロード用紙使用可）	○	—	—	—	—
宛名ラベル（A4）	インターネット出願サイトより宛名ラベル（A4）を印刷し、 封筒に貼付してください。 宛名には、生物理工学研究科の書類送付先を記入してください。	○	○	○	○	○
在職証明書（書式自由）	1 年以上の在職経験があることを証明する書類。	—	—	○	—	○
職場の長の推薦書 (書式自由)	研究科長宛。志望する専攻に関連する研究に従事している場合は、その内容についての意見を含む。	—	—	○	—	○
研究報告書または 研究計画書（書式自由）	これまで従事してきた研究に関する「研究報告書」または出願する専攻で志望する研究についての「研究計画書」(500~ 1200 字)	—	—	○	—	○
TOEIC 等のスコア (写)	TOEIC 等の範囲 : TOEIC L&R (公開)・TOEFL iBT・TOEFL iTP・ IELTS (外国語の試験に代わります。) スコアの有効期限は、出願開始日より 2 年以内に受験したもの	○	○	—	○	—

【博士後期課程】

出願書類	内容	試験制度			
		9月期		2月期	
		一般	社会人	一般	社会人
出願確認票	インターネット出願サイトより画面の指示に従って必要な情報を入力し、出願登録をしてください。出願写真データについては、13 ページをご確認ください。 ※紙での提出は不要です。	○	○	○	○
履歴書 (インターネット出願サイトトップの必要書類よりダウンロード)	必要事項を記入してください。 https://www.kindai.ac.jp/graduate/exam/requirements/document/	○	○	○	○
修了または修了見込 証明書	出願 3 カ月以内に発行したもの。 ※ただし、外国の学校の場合は、発行日の記載がなくても認められる。	○	○ ^{※1}	○	○ ^{※1}
成績証明書	出願 3 カ月以内に発行したもの。 ※ただし、外国の学校の場合は、発行日の記載がなくても認められる。	○	○	○	○
推薦書	学長宛。(ダウンロード用紙使用可)	—	—	—	—
研究経過報告書	A4 用紙に 1500 字程度 (修士論文提出者を除く)	○	—	○	—
修士論文 (写) および 学会発表等の論文別冊	〈修了見込の者については下記の書類〉 これまでの研究の概要 (A4 用紙に 1500 字程度)	○	—	○	—
宛名ラベル (A4)	インターネット出願サイトより宛名ラベル (A4) を印刷し、封筒に貼付してください。 宛名には、生物理工学研究科の書類送付先を記入してください。	○	○	○	○
在職証明書 (書式自由)	2 年以上の在職経験のあることを証明する書類。	—	○	—	○
職場の長の推薦書 (書式自由)	研究科長宛。志望する専攻に関連する研究に従事している場合は、その内容についての意見を含む。	—	○	—	○
研究報告書または 研究計画書 (書式自由)	1200 字～ 3000 字	—	○	—	○

※1 「卒業または卒業見込証明書」は、社会人入学選考を受験する場合は「卒業または修了証明書」を提出してください。

4. 選考方法

■試験は和歌山キャンパスで実施いたします。受験票に教室名を記載しておりますのでご確認ください。

【博士前期課程】

4-① 学内入学選考（9月募集）

学力試験、口頭試問、学部の成績等を総合して合否を決定します。

専攻	口頭試問
	13:30～
生物工学専攻	主として専修科目について
生体システム工学専攻	（専攻ごと）

外国語の評価については、研究科が指定する各種検定等の得点を学力試験の得点にみなして換算します。利用する各種検定等は、原則として出願開始日より2年以内に受験したものに限り、出願時に必ず各種協会等が発行する成績証明書等を提出してください（みなし得点換算例は下表を参照）。

表 各種検定の得点におけるみなし得点換算例

みなし得点	TOEICL&R（公開）	TOEFLiBT	TOEFLiTP	IELTS
100	700	70	530	5.5
80	560	55	480	4.5
60	420	40	430	3.5

※みなし得点が60点以上となる各種検定等の得点が対象となります。

4-② 一般入学選考（9月募集・2月募集）

学力試験、口頭試問等を総合して合否を決定します。

専攻	専門科目	口頭試問
	12:30～13:30	14:30～
生物工学専攻	生化学、タンパク質工学、細胞生物学、分析化学、植物分子工学、食生産工学、分子生物学、動物生理学、植物生理学、発生工学、微生物学の11科目のうちから1科目選	主として志望する専修科目について（専攻ごと）
生体システム工学専攻	応用数学、確率統計、生体機能学基礎、電気工学、材料工学、計算科学、材料力学、熱流体工学、計測・制御工学、臨床工学の10科目のうちから1科目選択	

(1) 出願前に、志望する専修科目を担当予定の教員（未定の場合は専攻主任）と、研究計画について十分に相談してください。

(2) 出願後の受験科目の変更はできません。

外国語の評価については、研究科が指定する各種検定等の得点を学力試験の得点にみなして換算します。利用する各種検定等は、原則として出願開始日より2年以内に受験したものに限り、出願時に必ず各種協会等が発行する成績証明書等を提出してください（みなし得点換算例は下表を参照）。

表 各種検定の得点におけるみなし得点換算例

みなし得点	TOEICL&R（公開）	TOEFLiBT	TOEFLiTP	IELTS
100	700	70	530	5.5
80	560	55	480	4.5
60	420	40	430	3.5

※みなし得点が60点以上となる各種検定等の得点が対象となります。

4-③ 社会人入学選考（9月募集・2月募集）

専修科目に関する口頭試問、出願時に提出した「研究報告書」または「研究計画書」に関する口頭試問および「推薦書」等を総合的に判断して、合否を決定します。

専攻	口頭試問
	10:00～
全専攻	主として志望する専修科目について（専攻ごと）

【博士後期課程】

4-④ 一般入学選考（9月募集・2月募集）

学力試験、口頭試問等の結果を総合して合否を決定します。

専 攻	口頭試問
	13:00～
生物工学専攻 生体システム工学専攻	主として志望する専修科目について (専攻ごと)

(1) 出願前に、志望する専修科目を担当予定の教員（未定の場合は専攻主任）と、研究計画について十分に相談してください。

(2) 生物理工学研究科博士前期課程修了および修了予定の志願者については、外国語科目を免除します。

外国語の評価については、研究科が指定する各種検定等の得点を学力試験の得点にみなして換算します。利用する各種検定等は、原則として出願開始日より 2 年以内に受験したものに限り、出願時に必ず各種協会等が発行する成績証明書等を提出してください（みなし得点換算例は下表を参照）。

表 各種検定の得点におけるみなし得点換算例

みなし得点	TOEICL&R（公開）	TOEFLiBT	TOEFLiTP	IELTS
100	700	70	530	5.5
80	560	55	480	4.5
60	420	40	430	3.5

※みなし得点が 60 点以上となる各種検定等の得点が対象となります。

4-⑤ 社会人入学選考

専修科目に関する口頭試問、出願時に提出した「研究報告書」または「研究計画書」に関する口頭試問および「推薦書」等を総合的に判断して、合否を決定します。

専 攻	口頭試問
	13:00～
生物工学専攻 生体システム工学専攻	主として志望する専修科目について（専攻ごと）

5. その他

【書類送付先・問い合わせ先】

〒649-6493 和歌山県紀の川市西三谷 930

書類送付先・問い合わせ先	電話番号
和歌山キャンパス学生センター	(0736) 77-3888

【近畿大学大学院 研究科・専攻 設置年】

研究科	専攻	設置年
生物理工学研究科	生物工学専攻	[修士・平成 9 年] [博士・平成 11 年]
	生体システム工学専攻	[修士・平成 26 年] [博士・平成 28 年]

【研究科・専攻・課程・授与する学位】

研究科	専攻	課程	授与する学位	
			修士	博士
生物理工学研究科	生物工学専攻	博士前期課程 博士後期課程	修士（工学）	博士（工学）
	生体システム工学専攻	博士前期課程 博士後期課程	修士（工学）	博士（工学）

【アクセス】

・和歌山キャンパスまでの交通アクセス

JR 阪和線 「紀伊」駅下車近畿大学行バス約 20 分

URL : <https://www.kindai.ac.jp/bost/access/>



・キャンパスマップ（和歌山キャンパス）

URL : <https://www.kindai.ac.jp/bost/about/facility/map/>

キャンパスマップ
(ホームページ)

交通アクセス
(ホームページ)

ノートパソコン
必携化
(ホームページ)

・ノートパソコン必携化

URL : <https://www.kindai.ac.jp/for-students/laptop/>

近畿大学大学院

和歌山キャンパス学生センター

和歌山県紀の川市西三谷 930

TEL : (0736) 77-3888

Mail : bost-kym@waka.kindai.ac.jp